

千葉県立博物館の事業に係る意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値 \geq 100%	4	A
ほぼ達成	目標値 \geq 80%	3	B
やや不十分	目標値 \geq 50%	2	C
不十分	目標値 $<$ 50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値 \geq 75%	4
ほぼ達成	達成値 \geq 65%	3
やや不十分	達成値 \geq 50%	2
不十分	達成値 $<$ 50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値		
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	29年度実績	2579件	4	B			
					資料総点数	2579件					
			2	資料の情報化・公開実績	29年度実績	1612点	2				
					館設定29年度の目標	2577点					
			3	資料の保守・管理の実施	29年度実績	50回	4				
					前年度実績	50回					
		収蔵資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	29年度実績	1件	4		A		
					要望のあった件数	1件					
			5	館内利用(学術調査等)	29年度実績	10件	4				
					館設定29年度の目標	10件					
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	29年度実績	23件	4				
					前年度実績	23件					
		調査研究	7	調査事案件数	件数	29年度実績	16件		4	A	
						館の計画	16件				
			8	共同調査事案件数	件数	29年度実績	0件		/		
要望のあった件数	0件										
9	研究成果の公開状況		論文研究報告	29年度実績	5件	4					
				館の計画	5件						
大項目 I の総合評価(A~D)							A				
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> 企画展、特別展において常設展示での活用を視野に入れながら資料を収集し、展示を充実させる。 収蔵資料について、画像とテキストを配置させたデータベースを構築して、利用者の利便性を向上させる。 展示資料を適切に維持管理することにより、実験装置等の稼働率を向上し、来館者の満足度を高めるよう努める。 										

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値						
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	29年度実績	173,163人	4	A			
						前年度実績	169,778人					
			2	企画展(事業名) (ちばの発酵)	入館者数	29年度実績	12,872人	4				
						館設定29年度の目標	7,000人					
		3	企画展(事業名) (プラネタリウム)	入館者数	29年度実績	18,658人	4					
					前年度実績	14,963人						
		4	ドームギャラリー展(事業名) (千葉の伝統工芸)	入館者数	29年度実績	9,977人	4					
					前年度実績	4,937人						
		展示の充実	5	常設展示	更新回数	29年度実績	0回	4			A	
						館設定29年度の目標	0回					
6	企画展(事業名) (ちばの発酵)					実施回数	29年度実績		1回	4		
		前年度実績	1回									
7	プラネタリウム	実施回数	29年度実績	1回	4							
			館設定29年度の目標	1回								
総合的な満足度	8	博物館	アンケート満足度 「とっても良かった」 +「良かった」の割合	29年度実績		4	A	満足度に係るアンケートは未実施				
				9	企画展(事業名) (ちばの発酵)				29年度実績	96%		
				10	プラネタリウム				29年度実績	84%		
大項目IIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> 企画展における主な来館者層は小学生程度の子どもの同伴の家族が最も多いが、子ども達だけでなく、親世代(30~40歳)の来館者にもアピールできる内容であったことから、高い満足度が得られた 展示への満足度は、体験的な展示に高い傾向があるため、展示構成に体験的要素を充実させたことにより、来館者の満足度の向上や来館者数の増加に繋がっている。 											
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	29年度実績	91%	3	B			
						館設定29年度の目標	13,696,000					
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	29年度実績	0件	2				
						前年度実績	0件					
大項目IIIの総合評価(A~D)							B					
博物館コメント												
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	29年度実績	2421回	4	B			
						前年度実績	2019回					
			2	HPでの利用状況	アクセス数	29年度実績	191,629件	4				
		前年度実績				118,905件						
		3	報道機関への情報発信	取材報告件数	29年度実績	25件	2					
					前年度実績	38件						
大項目IVの総合評価(A~D)							B					
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> HPのアップ数を増やし、情報提供の充実に努めた。 引き続き情報提供に努めていく。 											

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値			
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	29年度実績	159校	4	
						前年度実績	141校		
			2	入館者数	29年度実績	20076人	4		
					前年度実績	17403人			
			3	生徒・児童	入館者数	29年度実績	43938人	4	
		前年度実績				38606人			
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	29年度実績	16校	2		
					前年度実績	23校			
		5		利用者数	29年度実績	837人	3		
					前年度実績	1,046人			
地域関係団体との連携	6	団体数	29年度実績	24団体	4				
			前年度実績	20団体					
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	29年度実績	54回	4			
				前年度実績	51回				
	8		利用者数	29年度実績	34457人	4			
前年度実績				20744人					
9	友の会活動	利用人数	29年度実績	135人	4				
			前年度実績	121人					
10	ボランティア活動	活動延人数	29年度実績	381人	4				
			前年度実績	378人					
大項目Vの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・学校利用は増加しているが、出前講座(出張講座)は減少していることから、学校のニーズを把握し、それに対応したプログラムを構成して館内外での利用の促進に努める。 ・地域連携事業は前年度並みに達成できたが、さらに本館の魅力発信を強化することなどによって本館の特色を活かした連携事業の充実に努める。 								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
VI	教育・普及活動	来館状況	1	展示運営協力会講演会	参加者数	29年度実績	110人	3		
						前年度実績	138人			
			2	講座	夢チャレンジ体験スクール	参加者数	29年度実績	194人		4
							前年度実績	115人		
			3		クリスマス実験講座	参加者数	29年度実績	59人		3
							前年度実績	60人		
			4		ふうせんスライムをつくろう	参加者数	29年度実績	413人		4
							前年度実績	354人		
		5	体験教室	化石のレプリカをつくろう	参加者数	29年度実績	852人	4		
						前年度実績	692人			
		6		スノードームをつくろう	参加者数	29年度実績	151人	4		
						前年度実績	158人			
		7	たんけん科学館	参加者数	29年度実績	1428人	4			
					前年度実績	1002人				
		8	展示解説ツアー	参加者数	29年度実績	958人	4			
					前年度実績	861人				
		総合的な満足度		9	展示運営協力会講演会		29年度実績	94%		4
前年度実績										
10	講座			夢チャレンジ体験スクール	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	29年度実績		A	アンケート未実施	
						前年度実績				
11				クリスマス実験講座		29年度実績	96%	4		
						前年度実績				
12	体験教室			ふうせんスライムをつくろう	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	29年度実績		A	アンケート未実施	
						前年度実績				
13		化石のレプリカをつくろう		29年度実績		A	アンケート未実施			
				前年度実績						
14		スノードームをつくろう		29年度実績	95%	4				
				前年度実績						
15	たんけん科学館	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	29年度実績		A	アンケート未実施				
			前年度実績							
16	展示解説ツアー		29年度実績		A	アンケート未実施				
			前年度実績							
17	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	29年度実績	594件	4	A				
			前年度実績	562件						
大項目VIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣学校等への広報活動を充実し、各事業の定員数を増やすなどの対応をとったため、事業の多くが前年度実績を上回る来館者の参加が得られた。 ・今後は新たなプログラムの開発など事業内容の充実に努める。 									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値	
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	29年度実績	6人	2	C		
					前年度実績	9人				
			2	教員等の研修	29年度実績	95人	2			
					前年度実績	125人				
			3	職場体験	29年度実績	26人	2			
					前年度実績	40人				
			4	インターンシップ	29年度実績	3人	4			
					前年度実績	3人				
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	29年度実績	0回		/	A
					館の計画	0回				
			6	防災訓練実施等	実施回数	29年度実績	2回			
					館の計画	2回				
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						B				
博物館コメント	・職員等研修、職場体験については、本館の特色を活かした研修項目等の内容の充実を図る。									
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	29年度実績	74団体	4	A		
					前年度実績	69団体				
					29年度実績	3274人				
					前年度実績	3104人				
			3	外国人来館入込	29年度実績	5団体	4			
					前年度実績	3団体				
					29年度実績	215人				
					前年度実績	85人				
		大項目Ⅷの総合評価(A~D)							A	
		博物館コメント	・オリンピック・パラリンピックに向けて外国語対応の方法について検討する。。							
		総合評価(A~D) 【各達成度の平均】							A	
		総合評価と次年度への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の入館者数増加にはリピーターの確保が大切であることから、企画展・特別展の成果を整理・保存し、常設展示においても有効活用することによって展示の充実を図っていく。 ・展示資料、収蔵資料の維持管理を適切に行い、特に人気のある体験装置の保守点検を適切に行い、入館者の満足度を高める。 ・収蔵品のデータベース化を進めることにより、利用者の利便性を向上させる。 ・教育・普及事業では、魅力向上のための事業の改善と新たな事業開発を図る。 ・学校のニーズを把握し、それに対応できるプログラムを整備、情報発信を強化することで出張講座を含む学校利用の増加を図る。 							